

1年次

救急蘇生法

【Cardiopulmonary Resuscitation】

担当責任者（医学部長）

ねらい

救急蘇生法は医学的知識の有無にかかわらず、すべての人が習得すべきもので、医学生になった初年度に、このカリキュラムを組んだのもそのためである。

心肺蘇生法を実施できる。ただし、医学専門教育を受ける前段階であるので、器具や薬品等は使用しない。

学修目標

1. 絶え間ない胸骨圧迫を早く(100/分～120/分)、深く(約5cm、6cmを超えない)実施できる。(Ⅱ-7)
2. 胸郭を毎回元に戻すことができる。(Ⅱ-7)
3. 人工呼吸は1回1秒で、過換気を避けることができる。(Ⅱ-7)
4. AEDを用いて安全かつ迅速に電気ショックを行うことができる。(Ⅱ-7)
5. 新型コロナウイルスなどの感染症に配慮した救急蘇生法を行うことができる。(Ⅱ-7)

事前事後学習の方法

講義について

1. 予習： 指定教科書をよく読み、予習課題を仕上げしておくこと。
2. 復習： 復習課題をノートにまとめること。

実習について

1. 予習： 指定教科書をよく読みこみ、実技ができるように備えること。
2. 復習： 実技を振り返り、筆記試験に備えること。

成績評価方法・基準

1. 学習能力:最終試験 100点
2. 技術能力:スキルチェックシートによる技術評価 50点
3. 態度:各授業の参加による加算により各授業の配点 1回25点×2=50点(合計:50点)
4. 1・2・3の合計得点を2分の1とし、100点に換算し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

日本救急医療財団「救急蘇生法の指針 2020 市民用」(ISBN:978-4-86719-026-5)

○参考書

JRC蘇生ガイドライン2020(ISBN: 978-4-260-04637-4)

講義・試験:2301講義室

実習:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R6.6.19	水	1・2	救急蘇生法(歴史と総論)	CS	03	03	01	未定
6.24	月	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
6.24	月	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.3	水	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.3	水	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.22	月	1・2	総括・筆記試験	CS	03	03	02	未定